



報道発表資料の配付日時 12月25日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和2年度(2020年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の結果について																										
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																									
		発表場所																									
	<p>令和2年度(2020年度)第1回タンチョウ越冬分布調査を次のとおり実施しました。</p> <p>1 調査実施日時等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度(2020年度)第1回</th> <th>令和元年度(2019年度)第1回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査日時</td> <td>12月4日(金) 8:50～9:10</td> <td>12月5日(木) 8:50～9:10</td> </tr> <tr> <td>調査区域</td> <td>9 振興局41市町村</td> <td>9 振興局41市町村</td> </tr> <tr> <td>調査箇所</td> <td>計324箇所(野生321箇所)</td> <td>計313箇所(野生310箇所)</td> </tr> <tr> <td>調査協力者</td> <td>小・中学生など計441人</td> <td>小・中学生など計391人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 タンチョウ確認羽数 (単位:羽)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>令和2年度(2020年度)第1回</td> <td>合計:1,097【成鳥:859、幼鳥:139、不明:61、飼育個体:38】 野生個体:1,059(釧路:864、十勝:142、根室:37、ホーツク:5、胆振:8、空知:3)</td> </tr> <tr> <td>令和元年度(2019年度)第1回</td> <td>合計:1,251【成鳥:1,014、幼鳥:123、不明:78、飼育個体:36】 野生個体:1,215(釧路:1,038、十勝:138、根室:24、ホーツク:4、日高:6、胆振:2、空知2、留萌1(留萌の確認羽数は、住民の方からの情報提供によるもの。))</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 調査結果に対する有識者(正富 宏之 <small>まさとみ ひろゆき</small> 専修大学北海道短期大学名誉教授)のコメント概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今年は過去最多を示した前年同期より156羽(野生個体)少なく、過去2番目の記録数。 ○ 振興局管内別の目撃数は、十勝、根室、オホーツク、胆振及び空知の5管内で増加。一方、釧路及び日高では減少。 ○ 特に釧路管内では174羽減少しているが、調査日迄の気温が比較的高かったこともあり、管内で分散していた可能性あり。 ○ 広く各地で目撃されていることから、小学校等の参加を強く呼びかけたい。 				令和2年度(2020年度)第1回	令和元年度(2019年度)第1回	調査日時	12月4日(金) 8:50～9:10	12月5日(木) 8:50～9:10	調査区域	9 振興局41市町村	9 振興局41市町村	調査箇所	計324箇所(野生321箇所)	計313箇所(野生310箇所)	調査協力者	小・中学生など計441人	小・中学生など計391人	令和2年度(2020年度)第1回	合計:1,097【成鳥:859、幼鳥:139、不明:61、飼育個体:38】 野生個体:1,059(釧路:864、十勝:142、根室:37、ホーツク:5、胆振:8、空知:3)	令和元年度(2019年度)第1回	合計:1,251【成鳥:1,014、幼鳥:123、不明:78、飼育個体:36】 野生個体:1,215(釧路:1,038、十勝:138、根室:24、ホーツク:4、日高:6、胆振:2、空知2、留萌1(留萌の確認羽数は、住民の方からの情報提供によるもの。))					
	令和2年度(2020年度)第1回	令和元年度(2019年度)第1回																									
調査日時	12月4日(金) 8:50～9:10	12月5日(木) 8:50～9:10																									
調査区域	9 振興局41市町村	9 振興局41市町村																									
調査箇所	計324箇所(野生321箇所)	計313箇所(野生310箇所)																									
調査協力者	小・中学生など計441人	小・中学生など計391人																									
令和2年度(2020年度)第1回	合計:1,097【成鳥:859、幼鳥:139、不明:61、飼育個体:38】 野生個体:1,059(釧路:864、十勝:142、根室:37、ホーツク:5、胆振:8、空知:3)																										
令和元年度(2019年度)第1回	合計:1,251【成鳥:1,014、幼鳥:123、不明:78、飼育個体:36】 野生個体:1,215(釧路:1,038、十勝:138、根室:24、ホーツク:4、日高:6、胆振:2、空知2、留萌1(留萌の確認羽数は、住民の方からの情報提供によるもの。))																										
参 考	今年度第2回目の調査は令和3年(2021年)1月26日(火)に実施する予定です。																										
報道(取材)に当たってのお願い	<p>第1回調査では、地元の小・中学校の児童生徒をはじめ多くの方々の御協力をお願いしております。</p> <p>また、平成29年度から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社(JAL)と協働で調査を実施しておりますので、積極的な報道をお願いします。</p>																										
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク																										
担 当 (連絡先)	<p>環境生活部環境局自然環境課企画調整係 担当:橋本(ダイヤル:011-204-5987 又は 代表:011-231-4111 内線24-389) ※ 個別の調査内容については、次の(総合)振興局までお問い合わせ願います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>電話番号</th> <th>区 分</th> <th>電話番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空知総合振興局</td> <td>0126-20-0043</td> <td>ホーツク総合振興局</td> <td>0152-41-0630</td> </tr> <tr> <td>石狩振興局</td> <td>011-204-5824</td> <td>十勝総合振興局</td> <td>0155-26-9028</td> </tr> <tr> <td>胆振総合振興局</td> <td>0143-24-9577</td> <td>釧路総合振興局</td> <td>0154-43-9154</td> </tr> <tr> <td>日高振興局</td> <td>0146-22-9254</td> <td>根室振興局</td> <td>0153-23-6823</td> </tr> <tr> <td>宗谷総合振興局</td> <td>0162-33-2922</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	電話番号	区 分	電話番号	空知総合振興局	0126-20-0043	ホーツク総合振興局	0152-41-0630	石狩振興局	011-204-5824	十勝総合振興局	0155-26-9028	胆振総合振興局	0143-24-9577	釧路総合振興局	0154-43-9154	日高振興局	0146-22-9254	根室振興局	0153-23-6823	宗谷総合振興局	0162-33-2922		
区 分	電話番号	区 分	電話番号																								
空知総合振興局	0126-20-0043	ホーツク総合振興局	0152-41-0630																								
石狩振興局	011-204-5824	十勝総合振興局	0155-26-9028																								
胆振総合振興局	0143-24-9577	釧路総合振興局	0154-43-9154																								
日高振興局	0146-22-9254	根室振興局	0153-23-6823																								
宗谷総合振興局	0162-33-2922																										

令和2年度(2020年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の結果について

1 調査の趣旨

本調査は、絶滅危惧種のタンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的に、地元小・中学校や関係機関等のご協力のもと、調査の基礎的な手法やタンチョウ保護の歴史について学ぶことができるよう調査を進め、見られた場所、個体数を記録しました。

2 調査日時

令和2年(2020年)12月4日(金) 午前8時50分～9時10分

3 調査区域及び調査箇所

- (1) 調査区域 9(総合)振興局、41市町村管内のタンチョウ生息地及び飛来地全域
- (2) 調査箇所 合計324箇所

○調査地点所在市町村数の推移

(市町村)

振興局	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
釧路	8		8	8	8	8
十勝	11		11	7	11	11
根室	4		4	3	4	3
オホーツク	5		4	3	4	3
宗谷	3		4	-	2	-
日高	2		2	2	2	2
胆振	4		4	2	3	3
空知	1		3	1	3	1
石狩	3		-	-	-	-
留萌	-		1	-	-	-
合計	41		41	26	37	31

○調査箇所数の推移

(箇所)

振興局	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
釧路	192		174	143	168	158
十勝	64		71	38	91	46
根室	21		21	16	22	7
オホーツク	15		14	7	13	5
宗谷	6		4	-	2	-
日高	6		6	7	6	7
胆振	14		13	8	11	14
空知	2		9	1	9	2
石狩	4		-	-	-	-
留萌	-		1	-	-	-
合計	324		313	220	322	239

4 調査主体及び調査協力機関等

(1) 調査主体

北海道(環境省委託)

(2) 調査協力機関等

市町村、市町村教育委員会、釧路市動物園、小・中学校、日本航空株式会社、タンチョウ給餌人など

○調査協力者数

振興局	総計 (人数)	内 訳							
		小学校		中学校		(小計)		教職員	一般
		校数	児童数	校数	生徒数	校数	児童・生徒		
釧路	343	10	53	6	103	16	156	60	127
十勝	24					0	0		24
根室	24					0	0		24
オホーツク	0					0	0		0
宗谷	5					0	0		5
日高	1					0	0		1
胆振	8					0	0		8
空知	33	1	29			1	29	2	2
石狩	3					0	0		3
合計	441	11	82	6	103	17	185	62	194

※本庁、振興局職員を除く。

5 タンチョウ確認羽数（振興局別）

(羽)

振興局	令和2年度第1回				令和2年度第2回
	成鳥	幼鳥	不明	計	
釧路	693	110	61	864	
十勝	126	16	0	142	
根室	28	9	0	37	
オホーツク	4	1	0	5	
宗谷	0	0	0	0	
日高	0	0	0	0	
胆振	6	2	0	8	
空知	2	1	0	3	
石狩	0	0	0	0	
小計	859	139	61	1,059	
飼育個体	36	2		38	
合計	895	141	61	1,097	

<過去2カ年実績>

(羽)

振興局	令和元年度第1回				令和元年度第2回				平成30年度第1回				平成30年度第2回			
	成鳥	幼鳥	不明	計	成鳥	幼鳥	不明	計	成鳥	幼鳥	不明	計	成鳥	幼鳥	不明	計
釧路	864	96	78	1,038	1,144	95	7	1,246	669	81	6	756	761	114	13	888
十勝	114	24	0	138	50	7	0	57	171	25	0	196	84	7	0	91
根室	21	3	0	24	23	2	0	25	46	5	0	51	8	2	0	10
オホーツク	4	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
宗谷	0	0	0	0	-	-	-	-	4	1	0	5	-	-	-	-
日高	6	0	0	6	3	0	0	3	0	0	0	0	2	1	0	3
胆振	2	0	0	2	2	0	0	2	2	1	0	3	0	0	0	0
空知	2	0	0	2	-	-	-	-	3	0	0	3	1	0	0	1
留萌	1	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	1,014	123	78	1,215	1,222	104	7	1,333	897	113	6	1,016	856	124	13	993
飼育個体	36	0	0	36	37	0	0	37	35	3	0	38	35	3	0	38
合計	1,050	123	78	1,251	1,259	104	7	1,370	932	116	6	1,054	891	127	13	1,031

※「-」は調査を実施しなかったもの。「0」は調査を実施したが確認できなかったもの。

※各年度の確認羽数の推移については別添グラフ参照。

6 調査当日の気象状況

○令和2年度第1回調査（令和2年12月4日 午前9時）

振興局	天候	気温	風向	風速	備考
釧路	晴	-2.3℃	北東	2.1 m/s	釧路地方気象台
十勝	晴	0.6℃	東	1.5 m/s	帯広測候所
根室	晴	0.0℃	西北西	6.2 m/s	釧路地方気象台
オホーツク	晴	-3.1℃	南西	2.4 m/s	網走地方気象台
宗谷	曇	-2.9℃	西北西	3.1 m/s	稚内地方気象台
日高	晴	-0.6℃	北	1.9 m/s	室蘭地方気象台
胆振	晴	-0.6℃	北西	1.8 m/s	室蘭地方気象台
空知	晴	-1.2℃	南	1.4 m/s	札幌管区気象台
石狩	晴	-1.8℃	南西	0.9 m/s	札幌管区気象台

※<参考>令和元年度第1回調査（令和元年12月5日 午前9時）

振興局	天候	気温	風向	風速	備考
釧路	快晴	-2.0℃	西	6.2 m/s	釧路地方気象台
十勝	晴	-2.7℃	西北西	4.7 m/s	帯広測候所
根室	晴	-2.5℃	西南西	7.1 m/s	釧路地方気象台
オホーツク	晴	-2.3℃	西	5.0 m/s	網走地方気象台
宗谷	曇	-3.6℃	西北西	3.5 m/s	稚内地方気象台
日高	晴	-3.3℃	北西	3.1 m/s	室蘭地方気象台
胆振	晴	-3.0℃	北北西	3.9 m/s	室蘭地方気象台
空知	晴	-5.1℃	南南東	1.7 m/s	札幌管区気象台
留萌	雪	-2.8℃	西北西	9.2 m/s	旭川地方気象台

※<参考>平成30年度第1回調査（平成30年12月5日 午前9時）

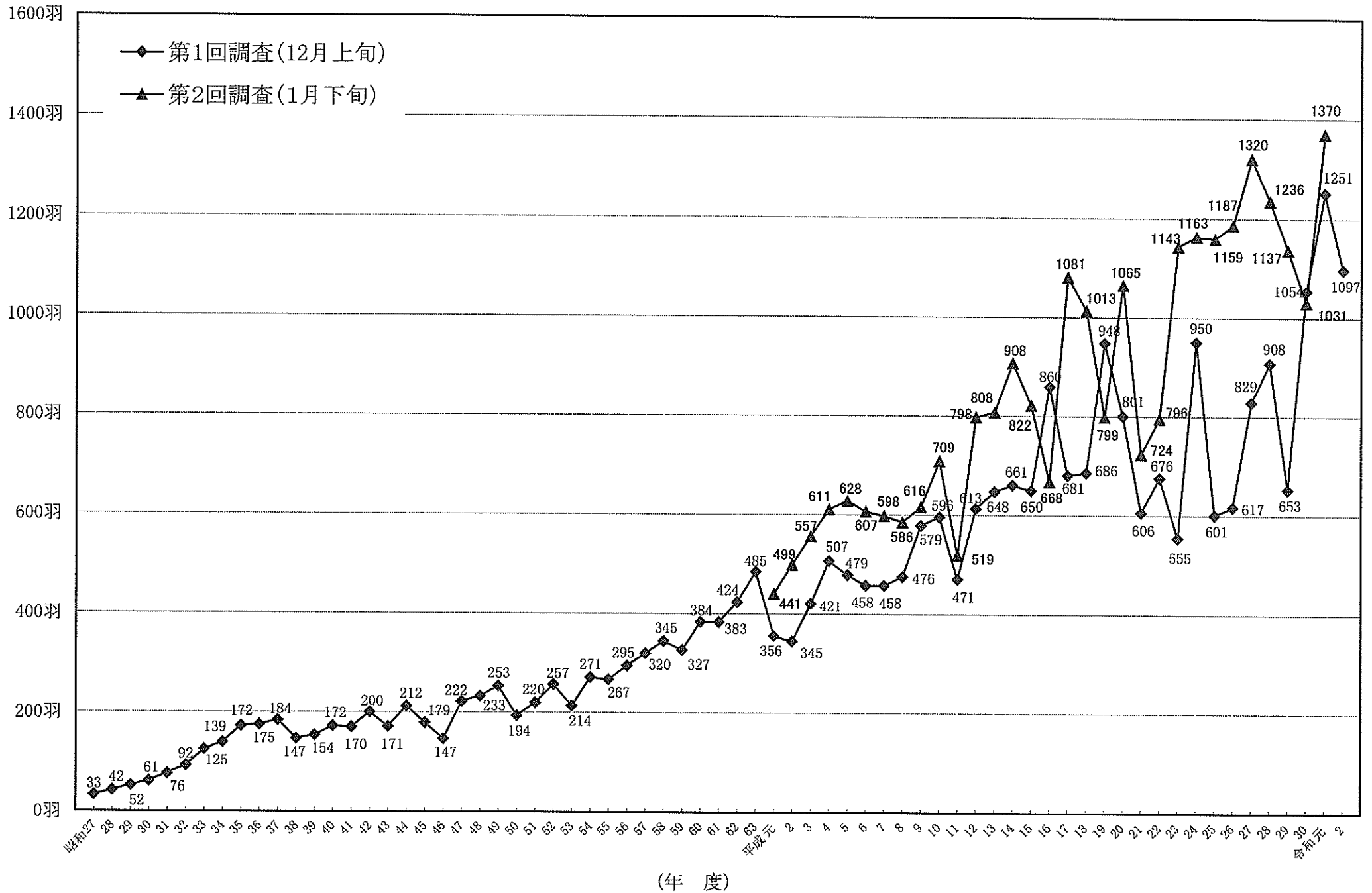
振興局	天候	気温	風向	風速	備考
釧路	晴	8.7℃	西	8.8 m/s	釧路地方気象台
十勝	晴	6.8℃	北西	5.9 m/s	帯広測候所
根室	雨	6.9℃	北北西	8.6 m/s	釧路地方気象台
オホーツク	雨	4.1℃	北西	5.7 m/s	網走地方気象台
宗谷	曇	-0.2℃	北西	4.3 m/s	稚内地方気象台
日高	晴	5.8℃	西北西	9.6 m/s	室蘭地方気象台
胆振	晴	6.0℃	西	7.9 m/s	室蘭地方気象台
空知	みぞれ	1.6℃	北北西	6.1 m/s	札幌管区気象台

7 タンチョウ確認羽数（市町村別）

(羽)

市町村	令和2年度第1回				令和2年度第2回
	成鳥	幼鳥	不明	計	
釧路	釧路市	16	3	0	19
	釧路市阿寒町	103	19	0	122
	釧路市音別町	53	1	61	115
	釧路町	6	3	0	9
	厚岸町	15	5	0	20
	浜中町	42	1	0	43
	弟子屈町	19	1	0	20
	標茶町	104	17	0	121
	鶴居村	328	58	0	386
	白糠町	7	2	0	9
十勝	大樹町	75	5	0	80
	広尾町	2	0	0	2
	霧別町	8	1	0	9
	池田町	6	7	0	13
	豊頃町	18	3	0	21
	浦幌町	15	0	0	15
	音更町	0	0	0	0
	上士幌町	0	0	0	0
	足寄町	0	0	0	0
	陸別町	2	0	0	2
本別町	0	0	0	0	
根室	根室市	10	3	0	13
	別海町	12	4	0	16
	標津町	0	0	0	0
	中標津町	6	2	0	8
オホーツク	網走市	0	0	0	0
	小清水町	0	0	0	0
	斜里町	0	0	0	0
	大空町	2	1	0	3
	美幌町	2	0	0	2
宗谷	豊富町	0	0	0	0
	浜頓別町	0	0	0	0
	枝幸町	0	0	0	0
日高	日高町	0	0	0	0
	えりも町	0	0	0	0
胆振	むかわ町	2	1	0	3
	厚真町	2	0	0	2
	安平町	0	0	0	0
	苫小牧市	2	1	0	3
室蘭	長沼町	2	1	0	3
石狩	千歳市	0	0	0	0
	江別市	0	0	0	0
	恵庭市	0	0	0	0
小計		859	139	61	1,059
飼育個体		36	2		38
合計		895	141	61	1,097

タンチョウ越冬分布調査（生息状況一斉調査）による各年度の確認羽数の推移（飼育個体含む。）



令和2年12月4日実施のタンチョウ越冬分布調査結果について

正富宏之

今年12月4日に行われた令和2年度第1回タンチョウ越冬分布調査結果について、これまでと同様に、動物園および類似施設の飼育個体を除いた野生個体のみを対象として、コメントを記しておく。

I. 分布状況

A) 今年の状況

調査対象は十勝、釧路、根室、オホーツク、宗谷、日高、胆振、空知のほかに、今回初めて加えられた石狩を含む9振興局（以下振興局を省略）管内の7市、33町、1村の計41自治体である。これら自治体の中に321カ所の調査地区を設け、その46.7%（150地区）でタンチョウが記録されたが、宗谷、日高、石狩の3管内では姿を見かけなかった。結局、タンチョウが目撃されたのは3市20町1村であり、対象とされた自治体の58.5%で生息が確認されたことになる。

確認地区数が最も多かった管内は釧路の110カ所で、調査地区数に対する割合は73.3%、次いで十勝24カ所で16.0%、根室10カ所で6.7%の順で、この3者で全体の96.0%を占めた。また、市町村別の確認地区数をみると、タンチョウが多く集まる音別と阿寒の両地域を抱える釧路市が45地区と最も多く、全体の30.0%を占め、次いで、鶴居村の34地区が22.7%、釧路の標茶町が12地区で8.0%、十勝管内の豊頃町が6地区で5.5%である。しかし、釧路、十勝両管内に次いでタンチョウの多い根室管内では、最多でも根室市の4地区（2.7%）に過ぎない。

分布に関しては、上のことから二つのことが言える。一つは、今回目撃記録は得られなかったものの、石狩管内が新たな調査対象になっており、道央圏での目撃記録などから、日高山脈を越えて道東から西へ向かう分布の広がりが、より進む傾向が認められること。二つには、釧路を分布の中心として、この時期には東側（根室管内）より、西側（十勝管内）で分散して暮らしている個体が多いことである。

今回のコメントではタンチョウが目撃された多くの市町村名を挙げたが、分布状況を理解いただくため、当コメントで挙げた以外に目撃記録のあった市町村名を記しておく。空知管内：長沼町、胆振管内：むかわ町・厚真町・苫小牧市、十勝管内：広尾町、釧路管内：釧路町・白糠町、根室管内：中標津町、オホーツク管内：大空町・美幌町である。

B) 前年（令和元年）との比較と今年の特徴

昨年は8振興局管内でタンチョウが目撃されたのに対し、今年は6管内のため、分布域が狭まったかのように見える。しかし、昨年の留萌管内の記録は偶発的なものであり、他方、今年は調査当日の目撃はないが日高管内で例年同様に生息が確認されており、両年とも実質は7管内での生息とみてよい。

昨年に続き、今年も道北の宗谷管内における目撃記録はなかった。しかし、この地方の春-秋期における生息数は近年増加しており、現代の広域的な温暖化傾向のもとでは、2018 年に見られたように、12 月初旬における居残りは天候次第で十分起きうるであろうし、さらには管内において越冬個体も早晩目撃されると想定される。

調査地区数と確認地区数は前年とほぼ同じで、前者に対する後者の割合（確認地域数割合）も昨年が 46.5%、今年が 46.7%で同率と言ってよい。

市町村別にみると、釧路管内では釧路市の飛来確認地区数の割合が、前年の 33%から、今年は 41%へ増加しており、これは釧路市阿寒町内でタンチョウが散在していた状況を示唆している。

これに対し、十勝管内では確認地域数が前年より少なかったことも加わり、北海道全体の中での飛来確認地区数の割合が前年の 21.5%から 16.0%へと低下した。今年は昨年より調査日の気温も高く、積雪もないことから、タンチョウが索餌のため広く分散し、調査の際に発見することが難しかったのかもしれない。

なお、昨年は釧路、根室、網走、苫小牧の 4 市が調査対象自治体に含まれていたが、今年はさらに 3 市が追加された。このことは、人間が集団で活動する領域の近くへ、タンチョウが分布をより拡大する傾向を示す一つの指標とみなすこともできよう。

II. 羽数

A) 今回の記録羽数

記録羽数は 1,059 羽で、これには今年生まれの幼鳥 139 羽と、成鳥と幼鳥の区別ができない 61 羽が含まれる。管内別羽数と割合は多い順に釧路 864 羽(全体の 81.6%)、十勝 142 羽 (13.4%)、根室 37 羽 (3.5%)、胆振 8 羽 (0.8%)、オホーツク 5 羽 (0.5%)、空知 3 羽 (0.3%) となり、釧路、十勝、根室の 3 管内で全体の 98.5%を占める（資料参照）。

記録された羽数の多い順に市町村を挙げると、鶴居村の 386（内幼鳥 58）羽が 1 位で、次は阿寒町と音別町を含む釧路市 256（23）羽、標茶町 121（17）羽、大樹町 80（5）羽、浜中町 43（1）羽、豊頃町 21（3）羽、厚岸町 20（5）羽、弟子屈町 20（1）羽、別海町 16（4）羽、浦幌町 15（0）羽の順で、10 位が同数の池田町 13（7）羽と根室市 13（3）羽である。この結果鶴居村の羽数が全体の 36.4%を占め、10 位までの市町村で全体の 94.8%が記録されたことになる。なお、10 位までの 12 市町村のうち、釧路管内の 6 自治体を合わせて 846 羽、十勝管内の 4 自治体で 129 羽、根室管内の 2 自治体で 29 羽を示し、釧路管内への偏りは明瞭である。

B) 前年との比較を含めた今回の特徴

今年が目撃総数は、過去最多を示した前年同期よりも 156 羽少なく、過去 2 番目の羽数であった。振興局別の割合では、前年比で釧路 -3.8 ポイント、十勝 +2.0 ポイント、根室 +1.5 ポイントなどとなっている。そこで全体の羽数減を理解するために、振興局、自治体、給餌場別に前年との結果を比べてみたい（資料参照）。

振興局別の目撃数は十勝（昨年 138：今年 142）、根室（24：37）、オホーツク（4：5）、胆振（2：8）、空知（2：3）の 5 管内でいずれも増加し、他方、釧路（1038：864）と日高（6：0）の両管内で減少した。特に釧路管内では 174 羽の減

で、これを生息羽数の多い市町村でみると、鶴居村は昨年の303羽から今年は83羽増えているのに、釧路市は生息数の多い阿寒町と音別町のいずれでも減少し、合計で393羽から3分の1減の256羽へ、さらに標茶町でも243羽から121羽へと半減している。

この減少について明確な原因の説明は難しいが、従来から述べているように、一つには調査日前の気候的条件や当日の天候などが関わると考えられる。今年は調査日前の11月下旬は釧路地方の気温が比較的高く、分布の項で述べたようにタンチョウは昨年より分散していた可能性があり、釧路市で確認地区数が昨年より増加したのに、個体数が減少したのはその表れといえるかもしれない。また、今年は鶴居村が羽数の最多を記録したが、今年を含めた6年間(2015-2020)の記録を見ると、鶴居村と釧路市がそれぞれ3回ずつ最多を記録している。さらに、昨年羽数で6位を占めた幕別町や10位の白糠町が今年はランク外となり、代わりに6位に豊頃町が、8位に別海町、10位に池田町と根室市の名が挙がっている。

こうした年による目撃数の変動には、それぞれの地域における特有の事情がからむことも否定できない。たとえば、標茶町の減少は、例年多数が目撃される場所で工事が行われていたらしく、その影響があったと考えられるし、釧路市音別町では調査時刻がこの地域の群れの行動と合わず、観察漏れが生じた可能性がある。このように地域により前年対比で羽数の大きな増減が認められるのは、各地域の環境の特性に応じて生息把握に難易が生じるからであろう。したがって、この時期のタンチョウの羽数記録は、分布域と同様に極めて流動的と捉えておくのが妥当である。

III. 提言

(報道機関への要望)

調査結果は毎年報道機関を通じて公開されるが、一部の報道内容は羽数の増減が主題とされているように思える。しかし、12月に行う第1回調査は、繁殖期が終わり厳寒期の越冬状態へ移行する前のタンチョウの分布状況(羽数を含む)を捉えようとするものであり、羽数・繁殖状況・越冬地等の把握は来年1月の第2回調査におけるテーマである。

しかも、第1回調査の主たる眼目の一つは、児童・生徒への環境教育の資料提供と実践を促すものであるが、同時に社会人に対して北海道の野生生物との共存を考える資料とするものに外ならない。北海道のタンチョウがどのように分布を拡大しているかを伝え、それを身近なこととして感じてもらえるような内容にしていなければ有り難い。

(児童生徒の参加)

今年も児童生徒の参加が一部に限られたことは、残念としか言いようがない。12月の調査の力点の一つは環境教育的意義である。タンチョウが広く各地で目撃されるようになっていくことを踏まえ、スクールバスなどを活用しての参加を強く呼びかけたい。毎年の繰り返しになるが、道、教育委員会、学校、さらに地域住民など関係者が意思疎通を図り、次回からの参加を強く要望したい。

(調査方法の改善)

調査時期にタンチョウは広く散らばっていることが多い。そのため限られた人数の調査では見落としが起きがちである。従って、地域住民の関心向上を意図しながら、第1回にあたる12月調査日時の変更も含めて、より広く一般住民のボランティア参加が可能な調査システム構築を望みたい。調査は年度内に2回行われるが、第1回はまだ気候的にそれほどの厳しさがいないため、さほど高度な知識・技術なしに気軽な参加を望めると思われる。一般住民参加で得られる資料の調査精度について多少の不安はあるが、多くの方がスマートフォンなど撮影可能な機器を利用されている現状では、映像記録利用でかなりのことは補えよう。